

SUGISEKI PRESENTS

みらい通信

(株)スギセキは、建設会社の環境への取り組みを応援します。

TalkRoom 009号室



インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

環境への配慮であるペーパーレスなどのDX化が結果として残業時間の削減にもつながっているという話が印象的でした。二次元コードを活用した重機点検や、各種申請書類などをペーパーレスにすることによって、書類・人の行き来の時間が大幅に削減され、円滑な業務の手助けになっているという話は、環境問題と経営は切り離さずに考えるべきであると再認識するものでした。また、環境問題や労働時間への取り組みだけでなく、インナーの透け問題に対処して作業着を一新するなど働き手への細かい配慮こそ、人手不足の時代でもコンスタントに新入社員を確保できる秘訣であると思いました。



風致地区で環境配慮の施工実現

鈴与建設(株) 土木工部部工事二課 所長 市野 竜朗氏

愛宕 昨年から施工されていた清水日本平線細谷橋耐震補強工事の現場にGTL燃料を導入いただき、ありがとうございます。導入のきっかけを教えてください。

市野 現場近くの街道沿いの他社の現場でGTL燃料ののぼりが並んでいるのを見て知りました。3月ごろに導入を検討し、4月の仮設構台の取り付け工事で稼働させる重機にGTL燃料を使用しました。

愛宕 検討から導入までとても早かった印象ですが。

市野 生コンなど現場で使う資材だと設計や工事前の段階で使用する話を進めなければならず、良い商材であっても施工途中からの採用が難しいです。一方、重機に使用するGTL燃料であれば、現場の裁量でスムーズに取り入れられました。また、導入に必要な申請や報告の書類をスギセキ様から用意していただいたことも大きなポイントでした。

愛宕 日本平周辺の現場ということで環境面の配慮はありましたか。

市野 現場は日本平を上っていく途中に位置し、風致地区に指定されています。建物の色に制限があるなど景観に配慮しなければならないエリアです。環境保全が重視され



る場所で、風致地区の工事として掲示の義務もあります。何かしらの取り組みができればと考えていたところ、燃焼時に無色無臭で煤(すす)の発生を抑えるGTL燃料は渡りに船でした。GTL燃料のCO2削減効果などの資料も用意していただいたので、発注者に効果を評価していただけたと思います。

愛宕 この他、貴社全体で環境負荷低減や働きやすい職場づくりに向けた取り組みはありますか。

市野 資料のペーパーレス化が進んでいます。職場環境改善の一環でもありますが、書類や資料を電子化することで、紙資源の浪費を減らすとともに、資料の修正や回覧の手間を減らし残業時間を削減しています。現場でも重機の点検簿などを二次元コードに対応

させてチェックできるようにしています。また、作業着を更新し、黒色を基調とすることでデザイン性やインナーが透けないようにする点など、若い人や女性も着用しやすいようにしました。一方、環境負荷が少ない製品や商材を現場で活用する点については事例がまだ少ない状況です。GTL燃料は使用感も問題なく、環境負荷低減の効果が分かりやすい点も現場としては助かる部分です。社内でフィードバックを共有していると考えています。



TalkRoom 010号室



インタビューアー
(株)スギセキ 愛宕航希

ワークライフバランスを重要視しており、フレックスタイム制度を導入していることが業界では珍しい取り組みで驚きました。そしてその実現の背景には会社として力を入れているDX化の推進による作業効率の向上が関係しているのだらうと思いました。また、ホームページやSNS運用に専門の人材を採用しているという話も印象的であり、このSNS時代、会社の見られ方・見せ方をしっかりと理解した人材がSNSを上手く活用する、それが結果として民間からの仕事の多さに表れているのだなと感心しました。会社の強みや他社との差別化の部分を明確に感じることの出来たインタビューでした。



環境保全から企業価値向上を

(株)板屋建設 取締役 黒川 直人氏



愛宕 貴社の業務内容を教えてください。
黒川 公共工事では舗装や橋梁工事、道路改良、民間工事では工場の造成工事や駐車場の整備を請けています。この他、エクステリア事業部ではフェンスやカーポートなど外構工事も行っています。

愛宕 2020年からGTL燃料を採用し、現在までに複数の現場で導入されていますが、使用感はいかがですか。

黒川 軽油と変わらない使用感で、CO2排出量を減らすことができるGTL燃料を、優れた環境商材として評価しています。

愛宕 貴社はエコアクション21認証を取得されています。企業全体で環境課題に取

り組んでいるのでしょうか。

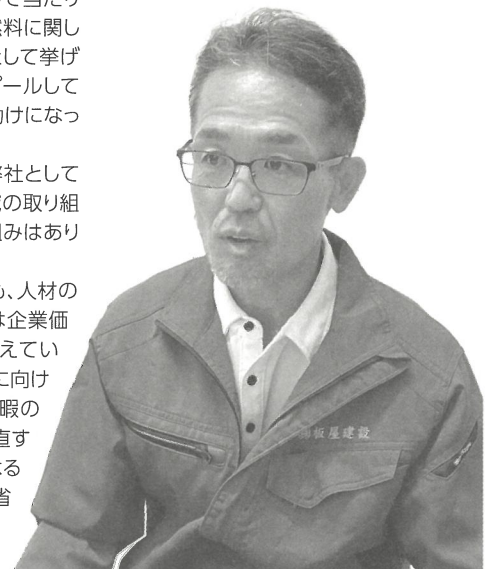
黒川 弊社は、砂浜のごみを拾うビーチクリーン活動やアカウミガメの放流などを行っており、環境に対する意識は高い方だと自負しています。GTL燃料についても、軽油を混入してはいけないといった取り扱いに関する周知事項も浸透し、あって当たり前の存在となっています。GTL燃料に関しては、工事検査の際に創意工夫として挙げる他、ホームページやSNSでアピールしていたこともあり、企業価値向上の助けになっていると思います。

愛宕 GTL燃料のアピールは弊社としてもありがたいです。環境負荷低減の取り組み以外で、企業価値向上の取り組みはありますか。

黒川 より良い職場環境づくりも、人材の定着と若手育成のため、ひいては企業価値向上に欠かせない要素だと考えています。ワークライフバランス実現に向けたフレックスタイム導入、育児休暇の充実など就業に関する部分を見直すとともに、レーザーセンサーによる3次元測量など業務DX化による省力化に注力しています。

愛宕 国内で限られた人材を取

り合っている状況で、良好な職場環境はリクルートの面でも強みになりそうですね
黒川 SNSの運用と併せて、自社の取り組みを若い人たちに発信することはとても有効だと感じています。社員からみても、良い会社で働いているという思いは、毎日の仕事のモチベーションにつながるはずですよ。



NETIS 登録技術 GTL燃料

燃焼時 CO₂ 8.5%削減

☎0120-217-517
株式会社 スギセキ

